MICHAEL DEELEY AND BARRY SPIKINGS PRESENT
DAVID BOWIE
IN NICOLAS ROEG'S FILM
THE MAN WHO FELL TO EARTH

ニコラス・ローグ監督　デヴィッド・ボウイ主演

地球に落ちて来た男

今はもうないあの場所へ

いつの日かわたしはきっと帰るだろう

ALSO STARRING RIP TORN CANDY CLARK BUCK HENRY PRODUCED BY MICHAEL DEELEY AND BARRY SPIKINGS DIRECTED BY NICOLAS ROEG
SCREENPLAY BY PAUL MAYERSBERG FROM THE NOVEL BY WALTER TEVIS EXECUTIVE PRODUCER SI LITVINOFF MUSICAL DIRECTOR JOHN PHILLIPS SERVICES BY MAYFAIR PRODUCTION
DAVID BOWIE IS ON RCA RECORDS AND TAPES ©1976 Studiocanal Films Ltd. All rights reserved.
STUDIOCANAL　Kyoto Minami-Kaikan

地球に降り立った美しき宇宙人、デヴィッド・ボウイ。待望の初主演作を、ふたたびスクリーンで！

www.bowiechikyu.jp

デヴィッド・ボウイの初主演作

2016年1月10日、この世を去ったデヴィッド・ボウイ。その2日前に69歳の誕生日を迎え、2年ぶりのアルバム『★（ブラックスター）』を発表したばかりだった。架空のロック・スター「ジギー・スターダスト」を演じることで世界的な大スターとなった彼は、それだけではなく、それぞれのアルバムでは常に自分ではない誰かを演じることで、「デヴィッド・ボウイ」となってきた。初出演作の本作では、ニコラス・ローグ監督から俳優として、被写体としてのデヴィッド・ボウイを要請され、家族を救うために地球に降り立つ宇宙人を演じている。

地球外から来た男

撮影当時は薬物の影響により、自分が何をやっているかわかっていなかったとも後のインタビューでデヴィッド・ボウイは語っている。そんな不安定で、どこか覚醒した状態こそ、この映画の宇宙人の役柄に求められていたことであった。まさに地球外から来た男の、悲しさを帯びたきらめく身体が、ニコラス・ローグ作品に欠かせないカメラマン、アンソニー・B・リッチモンドにより映しとられている。

MICHAEL DEELEY AND BARRY SPIKINGS PRESENT
DAVID BOWIE
IN NICOLAS ROEG'S FILM
THE MAN WHO FELL TO EARTH

ミュージシャンという身体

ニコラス・ローグは初監督作品『パフォーマンス』（1970年）ではミック・ジャガー、『ジェラシー』（1980年）ではアート・ガーファンクルを主演に迎えるなど、ミュージシャンの身体を映画の中心に置くことで、「映画」を作り変えてきた。俳優ではない「異物」としてミュージシャンたちの身体があることで、映画は不安定になり、そこに運動が生まれた。まさにこの『地球に落ちて来た男』の物語こそ、ニコラス・ローグの映画づくりそのものだったのだ。

ノイズとノスタルジー

俳優に専念することになったボウイの代わりに音楽を担当したのは、ママス&パパスのジョン・フィリップス。名曲「夢のカリフォルニア」の作者からは想像もつかないノイジーな響きが全編を覆い、宇宙人の聴覚がとらえた地球の音を再現。劇中の挿入曲として使われるルイ・アームストロング「ブルーベリー・ヒル」、ロイ・オービソン「ブルー・バイユー」、アーティ・ショウ「スターダスト」など、懐かしの名曲のノスタルジーと見事なコントラストを生みだしている。

Story

ある日宇宙船が地球に落下する。砂漠に降り立った宇宙人は、あまりに美しい容姿を持っていた。その後弁護士のもとを訪れた彼は、人知を超えた9つの特許を元に、弁護士とともに巨大企業を作り上げていく。アメリカのかつての大富豪、ハワード・ヒューズなどを思わせる、彼の奇妙な暮らしが始まり、彼は全米の注目の的となる。一体彼は何をしようとしているのか？　彼は何者なのか？　もちろんそんな彼の勢威を恐れる者たちもいた。彼の秘密の計画は思わぬ妨害を受け、彼の暮らしは一気に変わる。果たして彼は、故郷の星に戻ることができるのか……。

『地球に落ちて来た男』The Man Who Fell To Earth（1976年／イギリス／カラー／139分／デジタル／提供：京都みなみ会館、boid／配給：boid）
製作：マイケル・ディーリー、バリー・スパイキングス　監督：ニコラス・ローグ　脚本：ポール・メイヤーズバーグ　原作：ウォルター・テヴィス　制作総指揮：サイ・リトヴィノフ　音楽監督：ジョン・フィリップス　制作：メイフェアー・プロダクション　撮影：アンソニー・B・リッチモンド　出演：デヴィッド・ボウイ、リップ・トーン、キャンディ・クラーク、バック・ヘンリー、　バーニー・ケイシー、ほか
DAVID BOWIE IS ON RCA RECORDS AND TAPES　©1976 Studiocanal Films Ltd. All rights reserved　STUDIOCANAL　boid　Kyoto Minami-Kaikan

特別鑑賞券￥1,500円税込
（当日一般料金1,800円の処）
劇場窓口、プレイガイド、他にて発売中！
＊7/15（金）までの販売
［角川シネマ有楽町窓口では8/26（金）まで］

7/16（土）よりロードショー
渋谷駅より徒歩約10分 KINOHAUS 3F
ユーロスペース
EUROSPACE
03-3461-0211　www.eurospace.co.jp

8/27（土）よりロードショー
ビックカメラ上（読売会館8F）・JR有楽町駅 国際フォーラム出口前
角川シネマ有楽町
03-6268-0015　www.kadokawa-cinema.jp